

平成 27 年度第 1 回研究企画委員会
議 事 録

1. 日 時：平成 27 年 4 月 16 日（木） 15:00～17:40

2. 場 所：学会事務局会議室

3. 出席者：(アンダーラインは欠席、*は委任状提出)

長田委員長，笠副委員長，阪元幹事，天野委員*，池田委員*，浦越委員，江口委員
大野委員，佐々木委員，品川委員*，田中委員，照屋委員*，升元委員

(委任状提出者を含めて過半数以上であり、委員会成立。)

4. 討議資料

- ◆研究企画委員会平成 26 年度第 5 回委員会議事録(案)..... (27 研企 I 資①)
- ◆研究企画委員の選任について(案)..... (27 研企 I 資②)
- ◆岩盤分類再評価研究小委員会(第二期)の状況(平成 27 年 4 月 13 日時点)..... (27 研企 I 資③-1)
- ◆平成 26 年度第 10 回理事会議事録案..... (27 研企 I 資④-1)
- ◆平成 26 年度第 10 回(拡大)総務委員会議事録案..... (27 研企 I 資④-2)
- ◆平成 27 年度総会資料案(研企委関連部分のみ)..... (27 研企 I 資⑤)
- ◆アジアシンポ準備状況関連資料..... (27 研企 I 資⑥)
- ◆一家に一枚ポスター関連資料..... (27 研企 I 資⑦)

5. 議 事

5-1. 前回議事録の確認

一部修正のうえ、承認した。

5-2. 委員の交代について

上野光氏((独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構)を新委員として承認した。また、田中姿郎委員の退任を承認した。

5-3. 研究小委員会活動報告

(1) 岩盤分類再評価研究小委員会(第二期)

【報告事項】・・・阪元幹事資料代読

- ・技術書の原稿作成作業の現状についての報告。
- ・小委員会内部からの意見に基づく修正と読み合わせを 2 月、4 月それぞれ 1 回開催し、11 章以外は終了。今後、11 章の読み合わせと修正後の全体確認を 5 月に実施予定。
- ・作業スケジュールについては、粗原稿作成を 6～7 月、研究企画委員会での内容確認を 8 月頃、その後の編集、調整を経て出版を 2016 年 3 月頃として設定。

(2) 地すべりの初生と評価に関する研究小委員会(第二期)

【報告事項】・・・阪元幹事

- ・学会誌特別号による研究小委員会活動成果の報告に向けた取り組み状況についての報告(口頭のみ)。
- ・編集委員会との調整の結果、10月号と12月号の二号に分けて掲載することとなったこと、原稿が編集委員会の査読段階となったこと、また、カラー頁印刷費用について、学会予算で支弁することが理事会で承認されたことなど。

【意見等】

- ・ カラー一頁印刷費用については、事務局で頁数を基に見積もりを取ることとなっているが、研究小委員会から頁数の連絡が現時点でないようであるため、阪元幹事から研究小委員会担当者に連絡を入れる。

5-4. 理事会／常置委員会報告

(1) 理事会／総務委員会

【報告事項】・・・長田委員長、笠副委員長

- ・ 第10回理事会(H27.3.27開催)および第10回拡大総務委員会(H27.3.20開催)における議事内容(一部)の報告による最近の学会全体に関する情報提供。
- ・ 会員状況、アジアシンポジウム準備状況についてなど。

5-5. 総会資料について

- ・ 総会資料案の記述内容について再確認した。
- ・ 名簿、平成26年度活動状況の記述に一部間違いがあったため、修正のうえ、改めて総務委員長に提出することとした。

5-6. アジアシンポへの協力態勢について

- ・ アジアシンポの準備状況について情報共有し、研究企画委員会の協力態勢について議論した。
- ・ 研究発表会、アジアシンポに参加する委員を中心に、研究企画委員会から運営補助スタッフを数名選出して協力することとした。

5-7. 一家に一枚ポスター企画への取り組みについて

- ・ 過去の採用企画一覧、選考メンバー、および、昨年度応募要領等などの資料を基に、今後の取り組みの具体について議論した。
- ・ 従来案の「水」をテーマにした企画も踏まえつつ、学会としてアピールできる分野として、地中からの視点で地質・地盤環境と地下水について俯瞰できるような企画に取り組むこととした。(キーワード: エネルギー&水、地中/水、地中からの視点、地震/断層/資源)
- ・ 今後、引き続き各委員で企画案に関する検討と素材集めを継続することとした。

5-8. その他

- ・ 次回委員会は、平成27年6月11日(木)14:00から学会事務局にて開催することとした。

以上